

山口県内の経済情勢

令和 8 年 8 月 5 日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 吉田
TEL：(083) 922-2190(代)

HP 掲載先：
[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)



調査結果は、こちらからも
確認できます。

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	

（注）8 年 7 月判断は、前回 8 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
-----	---------------	---------------	----------

個人消費	回復しつつある	回復しつつある	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	

設備投資	7 年度は前年度を下回る見込み	8 年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	7 年度は増益見込み	8 年度は増益見込み	
企業の 景況感	「下降」超幅は拡大	「下降」超幅は拡大	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を下回る	前年を上回る	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費「回復しつつある」

家電大型専門店販売は、省エネ基準改正を見据えたエアコンの買い替えが好調であることから、前年を上回っている。ドラッグストア販売、百貨店・スーパー販売は飲食料品、コンビニエンスストア販売は総菜などが堅調であることから、前年を上回っている。

また、乗用車販売は、普通車や小型車が堅調であることから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 省エネ基準改正を見据えたエアコンの買い替え需要が高まっている。また、5月下旬から山口県による省エネ家電等購入支援が開始されたことで、高価格帯のエアコンや冷蔵庫、テレビの売れ行きも良い。(家電大型専門店)
- 気温の上昇に伴い、冷たい飲料が好調。また、依然として節約志向が強いものの、インターネットで評判の高い化粧品やキャラクターとのコラボレーション商品などの付加価値の高いものは、高価格であっても売れ行きが良い。(ドラッグストア)
- 時短を求めるトレンドが続いていることから、焼き鳥などの半調理品や総菜が好調。また、母の日はスイーツやオードブルなどの売れ行きが良かった。(スーパー)
- 節約志向が続いており、ついで買いを控える傾向が強まっている中、パスタサラダなど価格が手頃な総菜が好調。(コンビニエンスストア)
- 新型車の発売に加え、4月から自動車税環境性能割が廃止されたことで、普通車・小型車の販売台数が増加している。(自動車販売店)
- 国内旅行の予約は、シルバーウィークの日並びがよく好調。一方で、燃油サーチャージの上昇により海外旅行の予約はやや低調。海外旅行先は、中東を避けたオセアニア方面が人気となっている。(旅行代理店)

■ 生産活動「持ち直しつつある」

化学、鉄鋼は建設需要が低調であることなどから、減少している。

輸送機械は海外需要、汎用・生産用・業務用機械は半導体関連製品の受注が堅調であることなどから、増加している。

- 国内では資材価格の高騰や人手不足による工期の長期化などに加え、海外では中国の不動産市場が回復していない影響を受け、建材用資材向けの生産が弱含んでいる。原料調達については、供給網における代替調達が進んだことで足下では安定しているものの、価格が上昇しており、利益確保が課題となっている。(化学)
- 国内の建設需要低迷を背景に、生産量は減少している。(鉄鋼)
- 海外向け自動車販売が堅調であり、生産量は増加している。(輸送機械)
- AI 需要の拡大を背景に、半導体関連製品の受注が堅調。(生産用機械)

■ 雇用情勢「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、堅調に推移している。

新規求人数は、卸売業・小売業などで減少しており、前年を下回っている。

- 賃上げや年間休日数の増加など雇用条件の改善により中途採用は増加しているものの、新卒採用は他の企業も力を入れており、厳しい。店舗では依然として人手不足の状態が続いており、特に技術を要する生鮮部門での人材確保が課題となっている。(小売)
- 求人を行っても応募が十分に集まらないため、セルフレジの導入など省人化に取り組むことで人手不足の解消を図る事業所が増加している。また、原材料価格の高騰が収益を圧迫しており、求人を見送っているとの声も一部聞かれた。(公的機関)

■ 設備投資「8年度は前年度を上回る見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業は、その他の輸送用機械などで減少するものの、化学、鉄鋼などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業は、鉱業・採石などで減少するものの、運輸・郵便、金融・保険などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 先端事業での生産能力を強化するため、新規設備投資を進めている。(化学)
- 老朽化した船舶の更新を計画している。(運輸・郵便)

■ 企業収益「8年度は増益見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業は、生産用機械などで増益となるものの、化学、食料品などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、生活関連サービスなどで減益となるものの、小売、情報通信などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感「『下降』超幅は拡大」(全産業)「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きも「下降」超幅が拡大する見通しとなっている。

■ 住宅建設「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数は、貸家、分譲住宅が減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、一般機械、化学製品などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、北米、アジアなどで増加している。

なお、輸入(円ベース)は、電気機器、石炭などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、北米などで増加している。

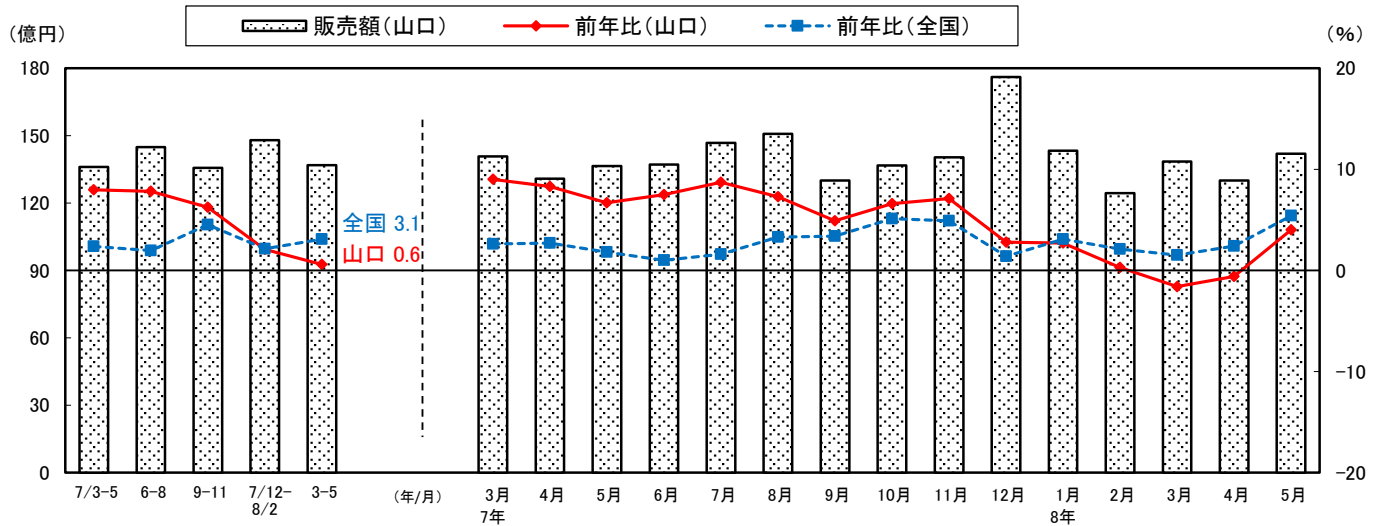
資 料 編

目 次	ページ
1. 個 人 消 費	1
2. 生 産 活 動	3
3. 雇 用 情 勢	4
4. 設 備 投 資	5
5. 企 業 収 益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住 宅 建 設	6
8. 輸 出	7

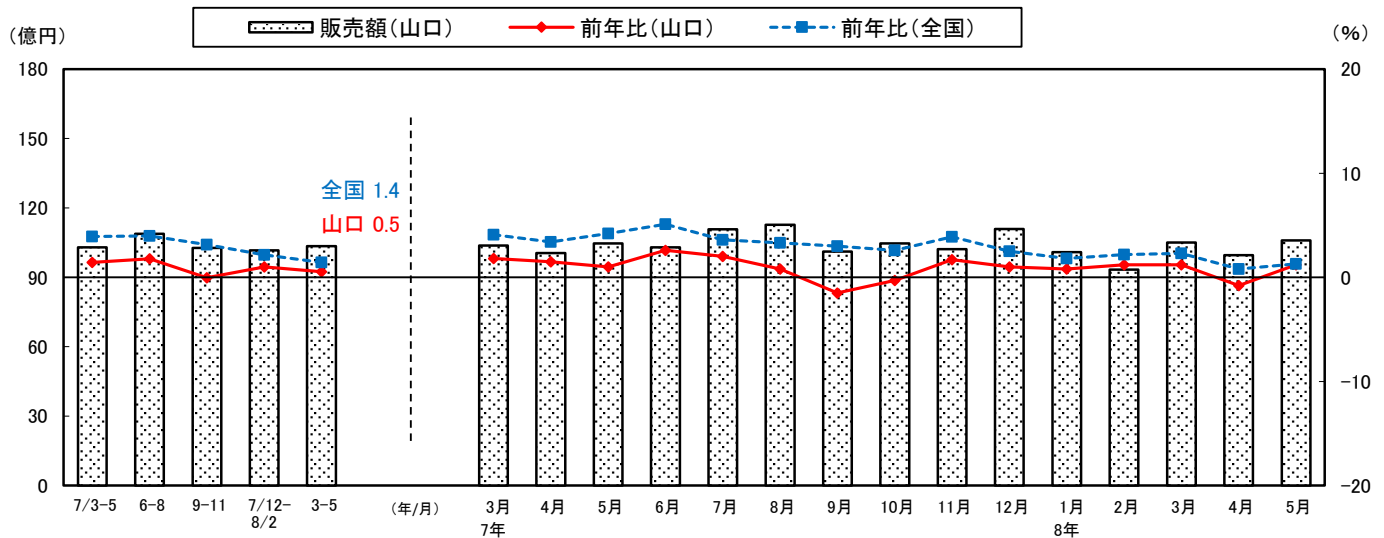
1. 個人消費 回復しつつある

(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)

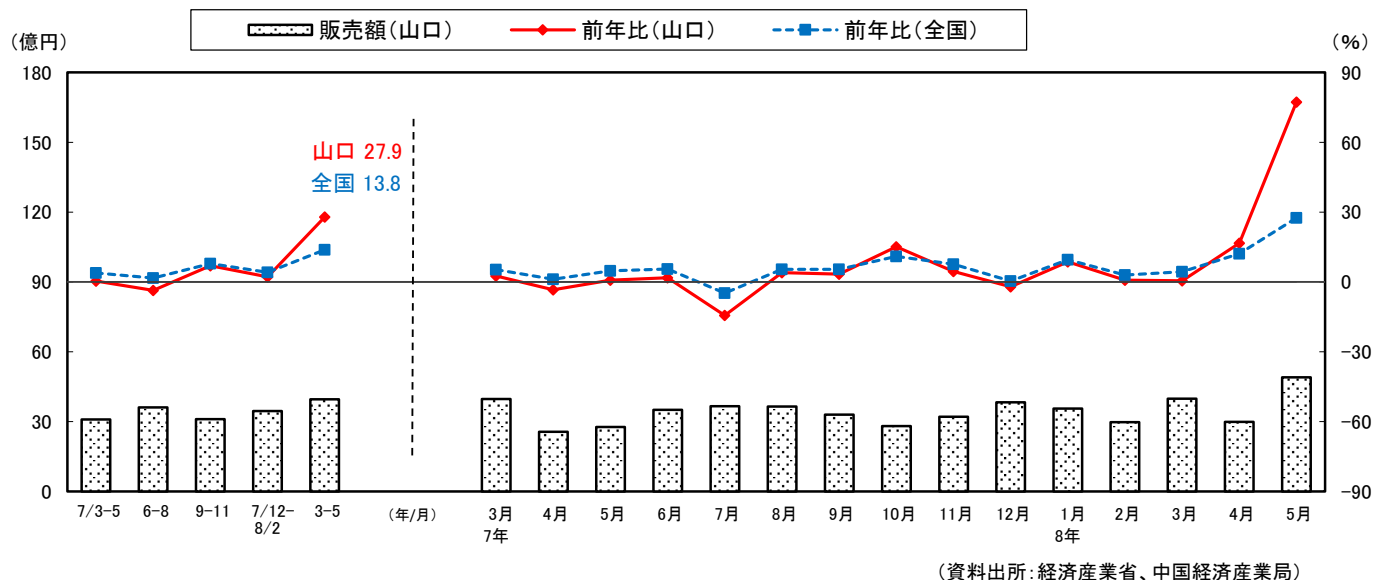
(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示。



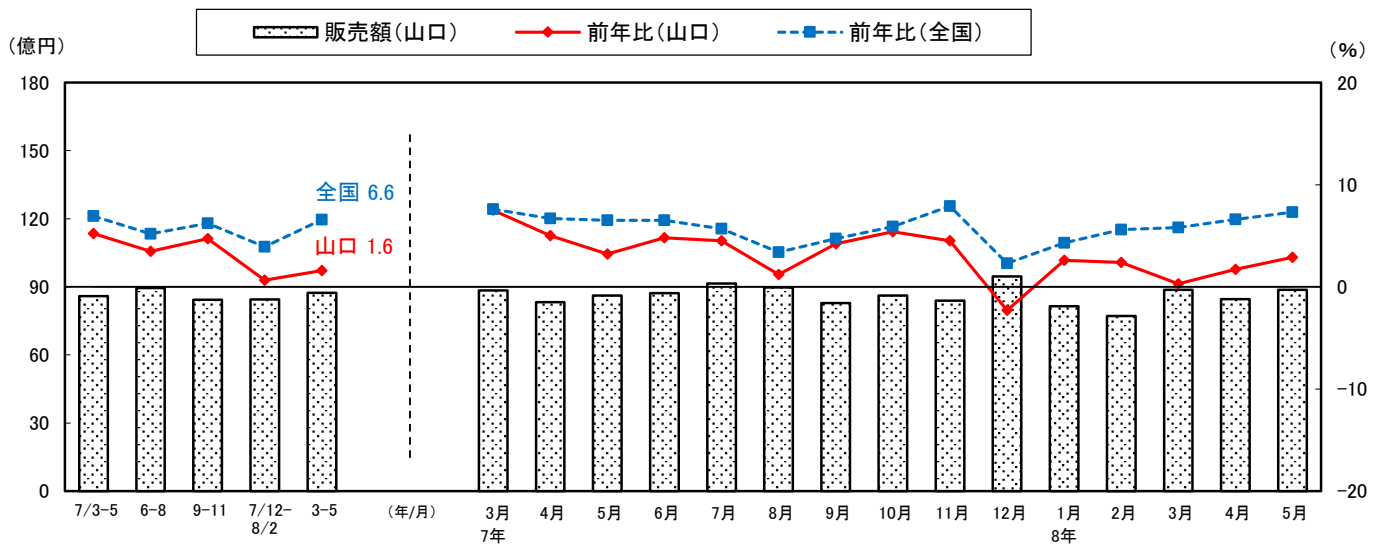
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)

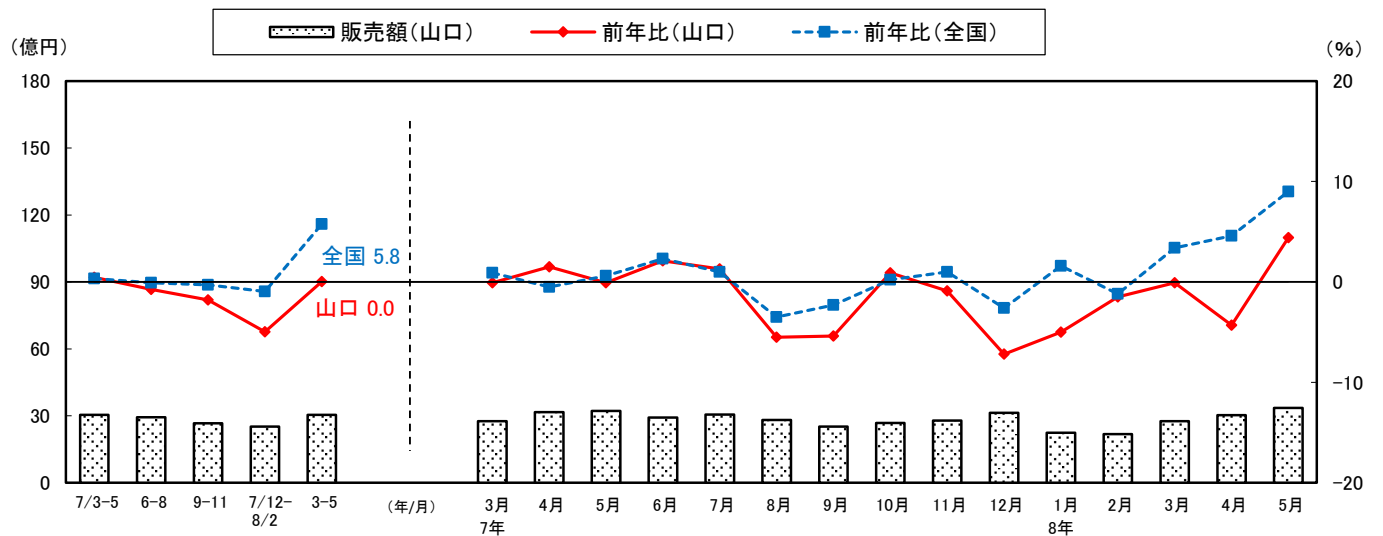


(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



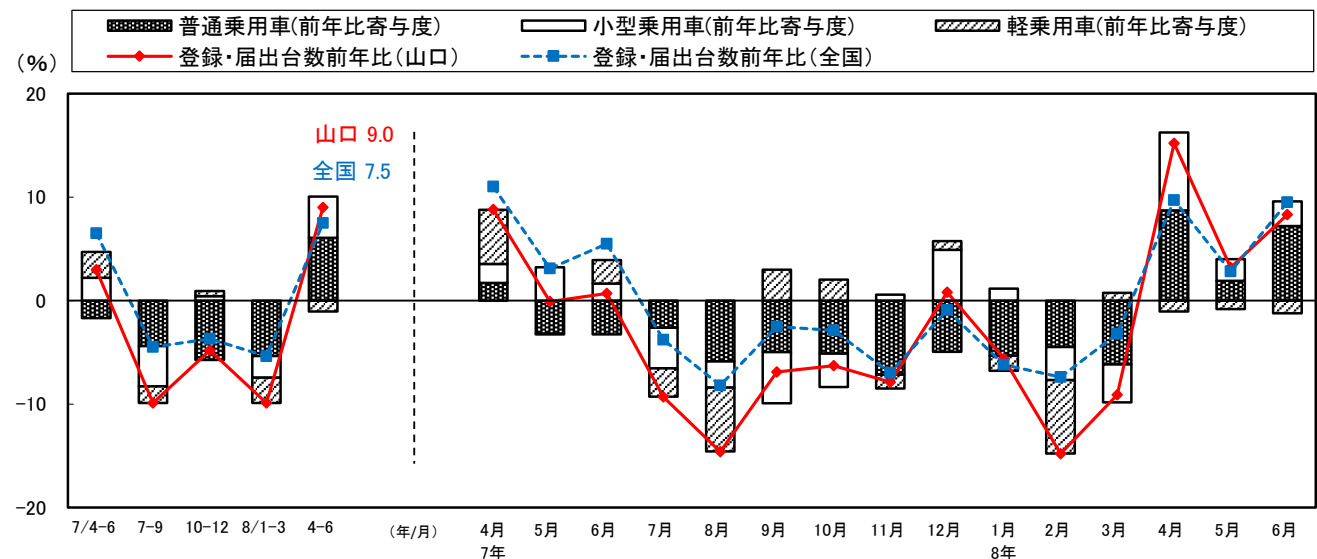
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

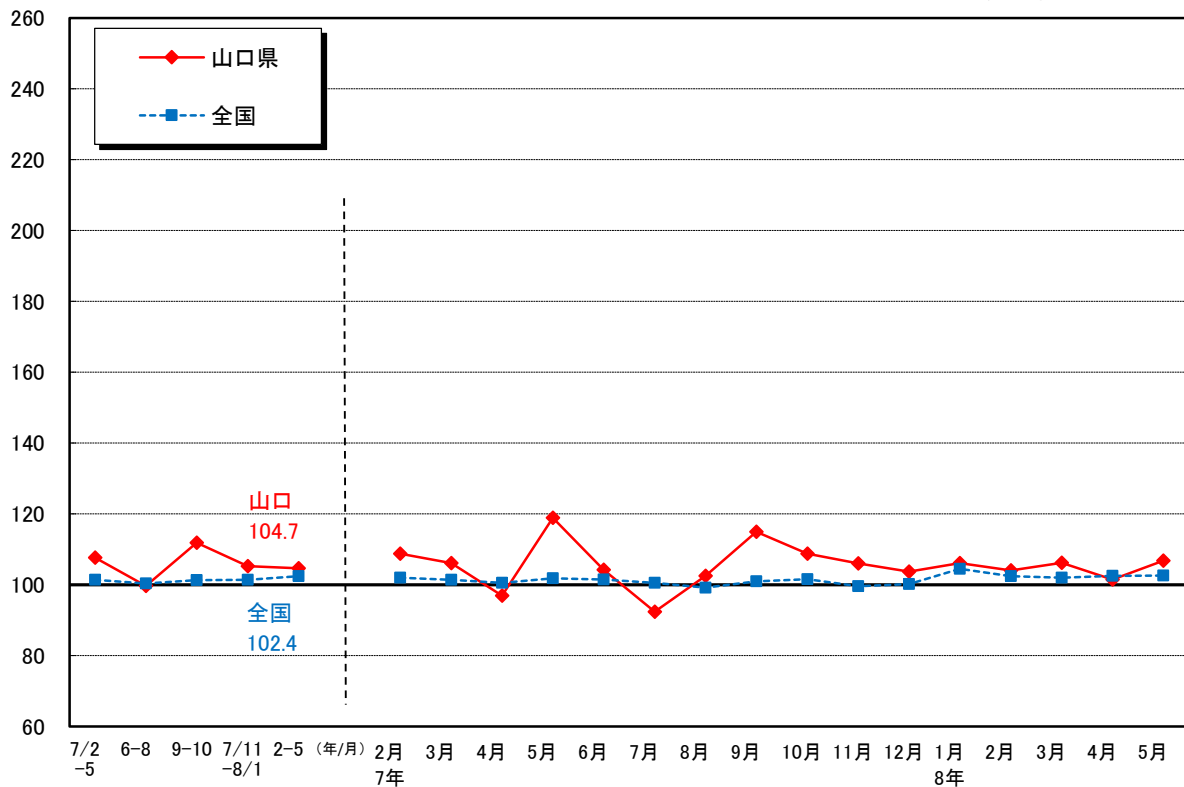


(資料出所: 中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

2. 生産活動 持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

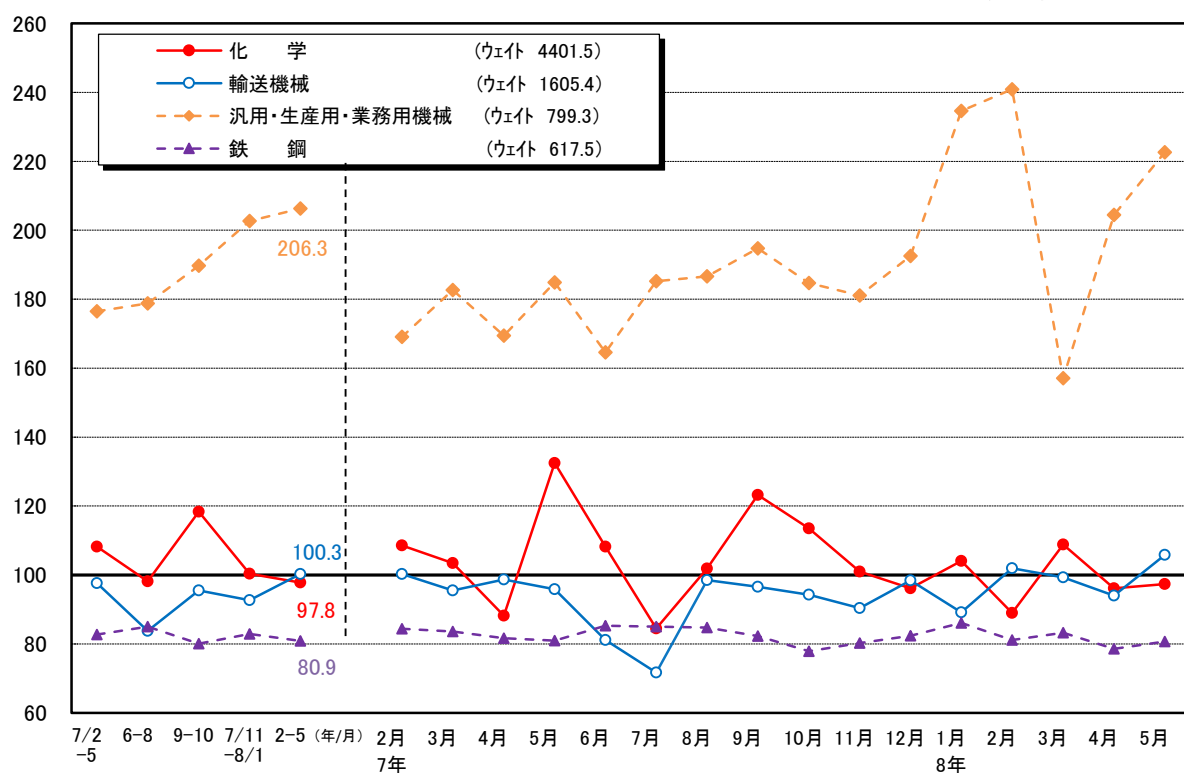
(指数) (令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、山口県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (令和2年=100)

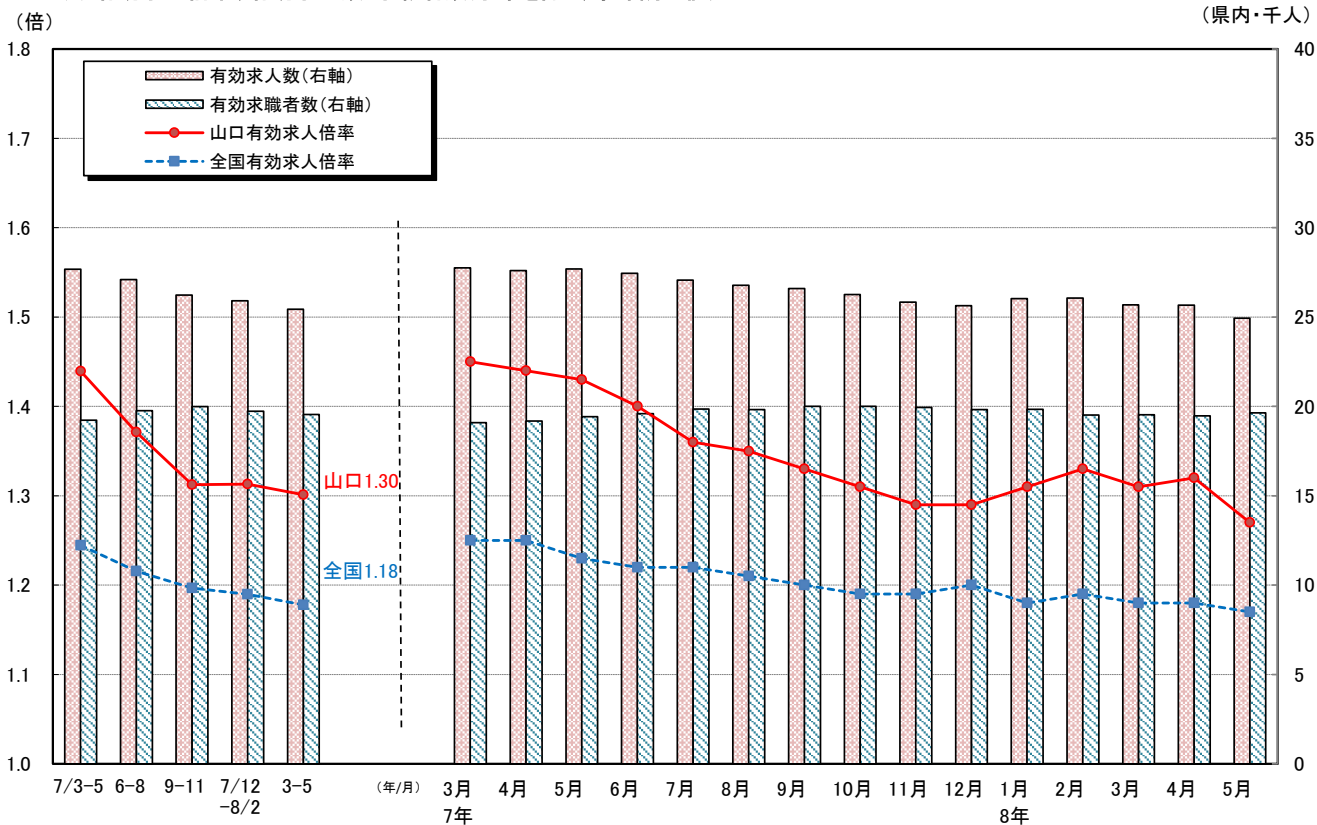


(資料出所: 山口県)

3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

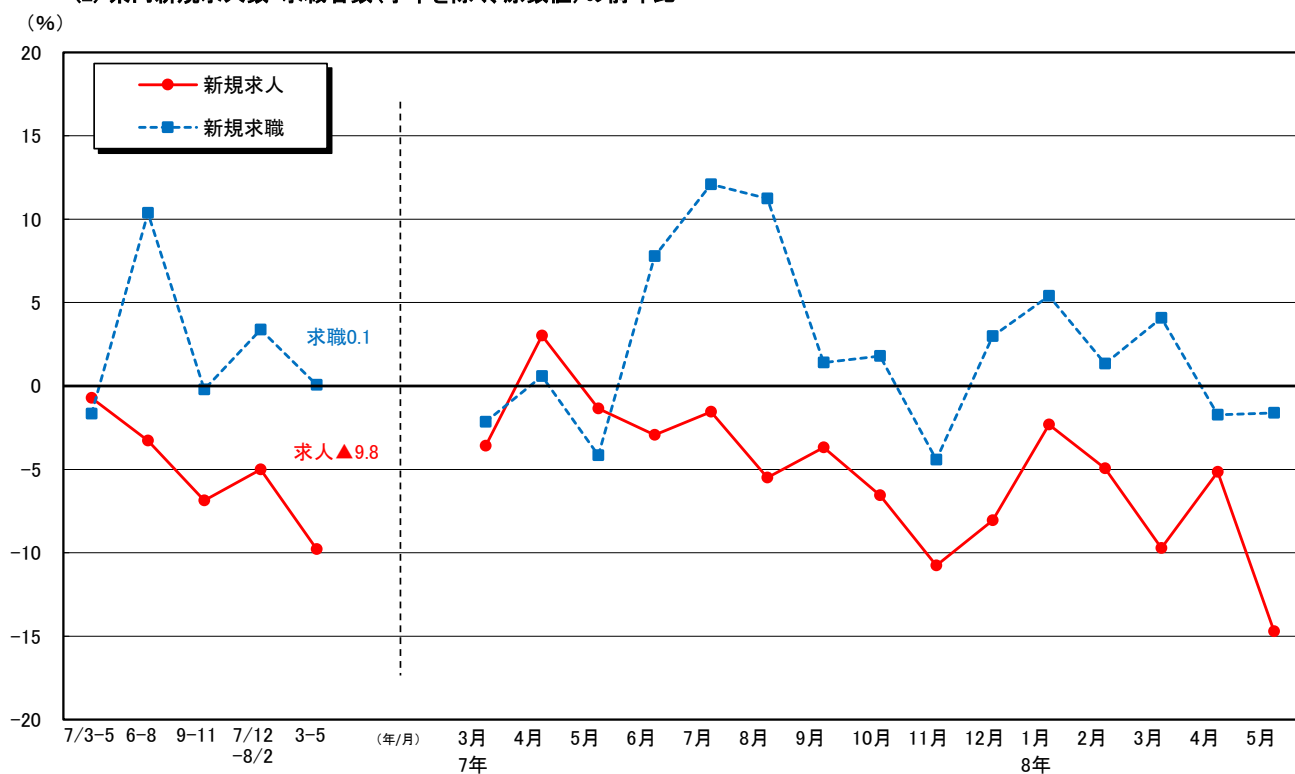
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示。

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所: 厚生労働省、山口労働局)

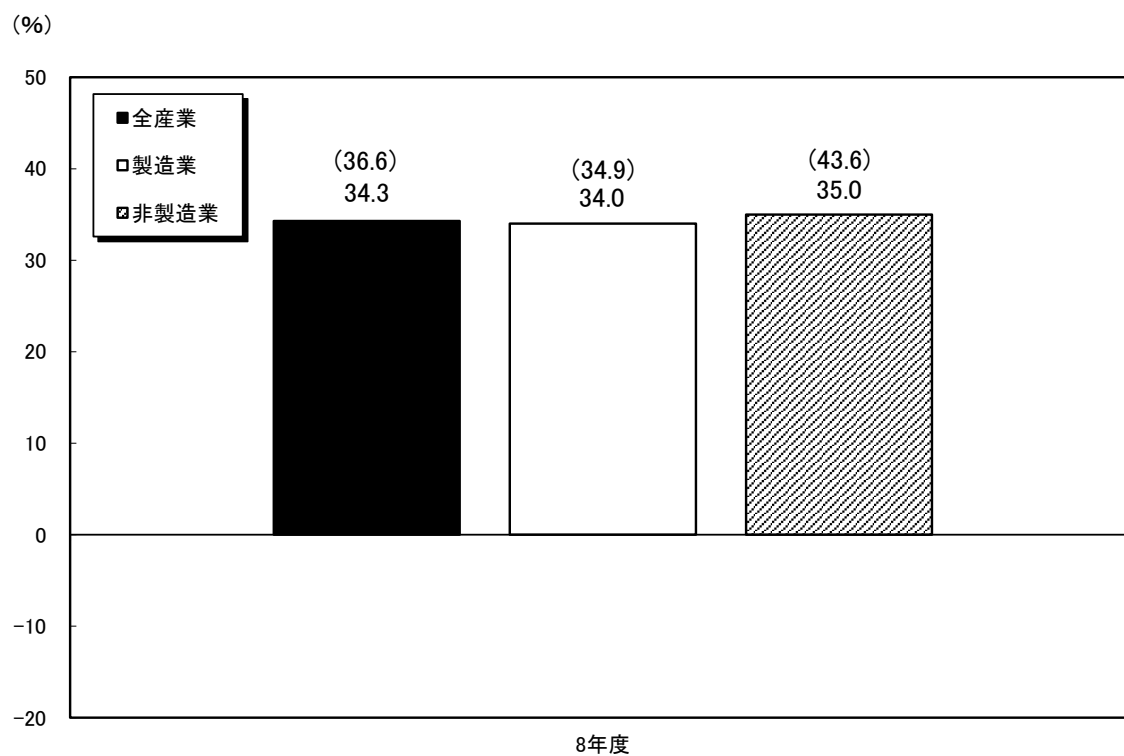
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所: 山口労働局)

4.設 備 投 資 8年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

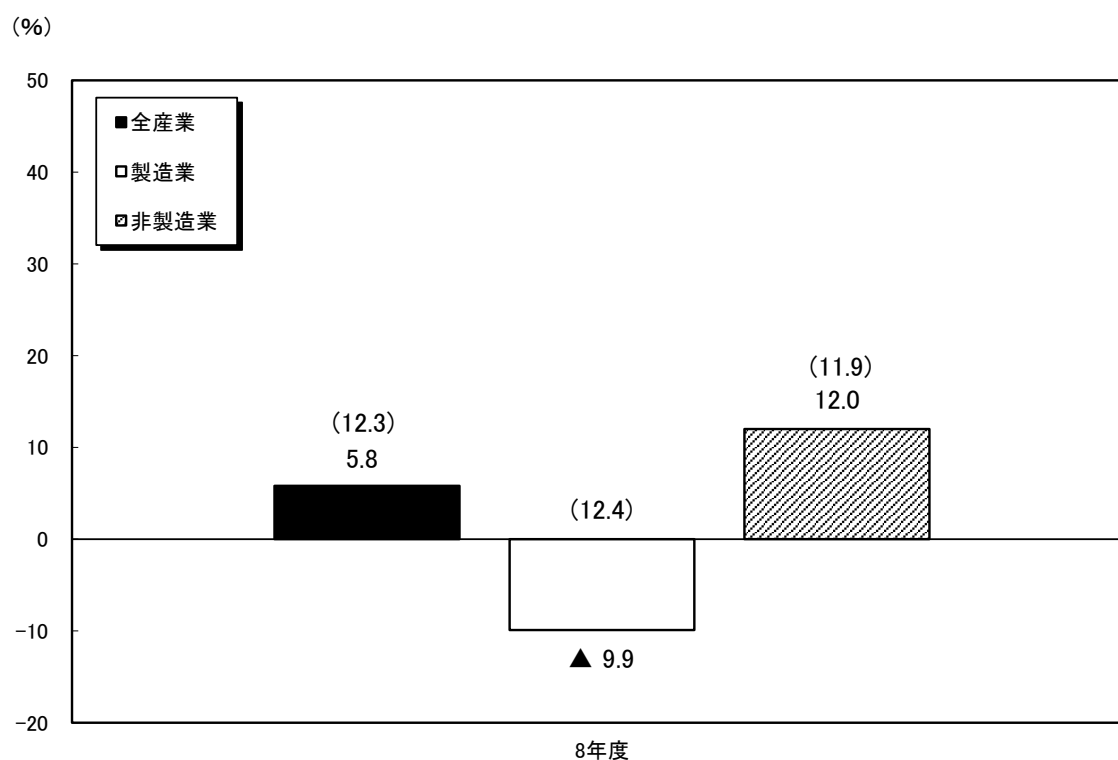


※()書きは前回(8年1～3月期)調査結果

(資料出所:山口財務事務所)

5.企 業 収 益 8年度は増益見込み

経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)

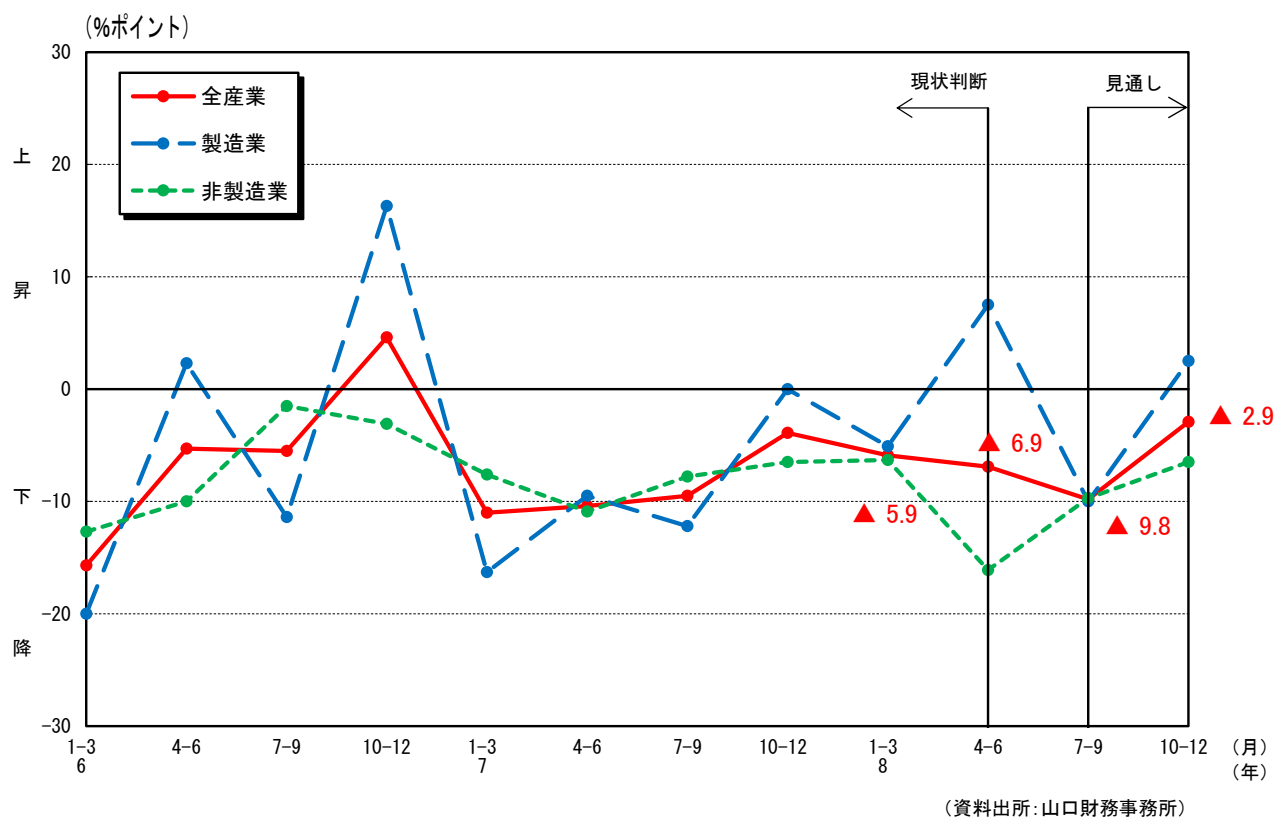


※()書きは前回(8年1～3月期)調査結果

(資料出所:山口財務事務所)

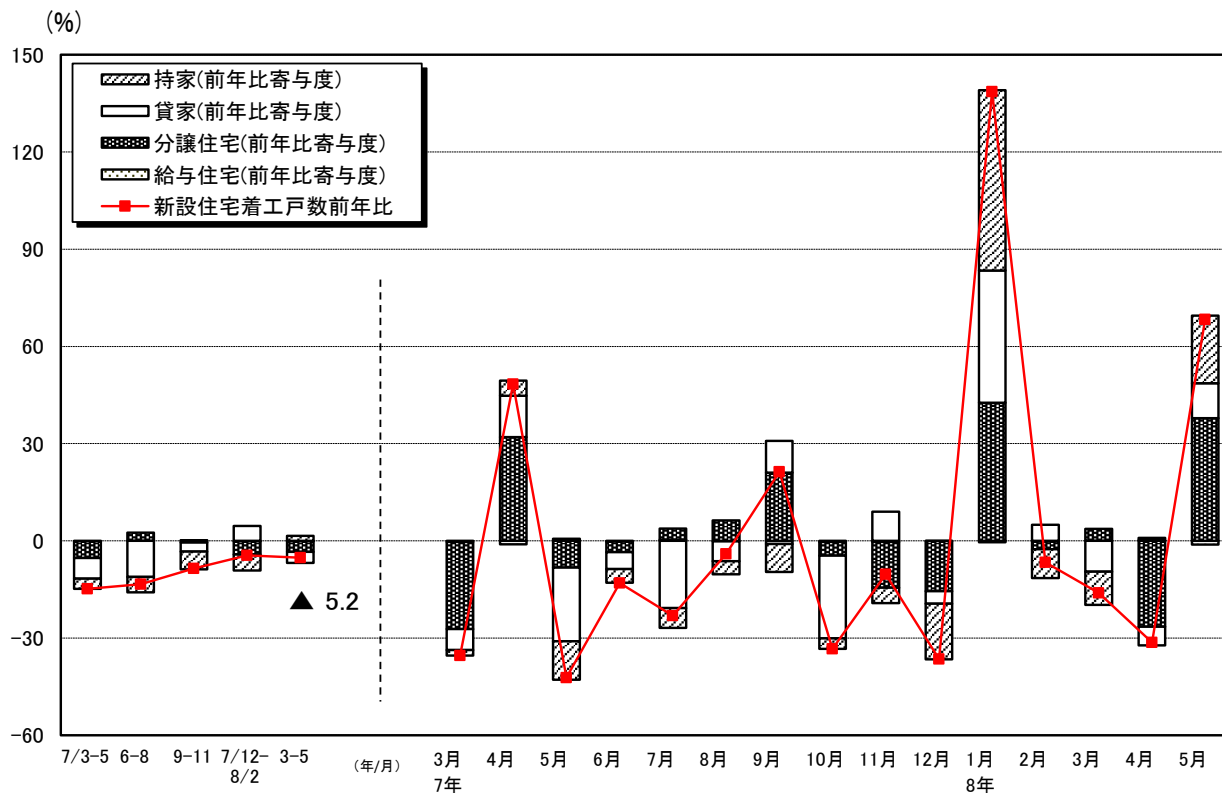
6.企業の景況感 「下降」超幅は拡大

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



7.住宅建設 前年を下回る

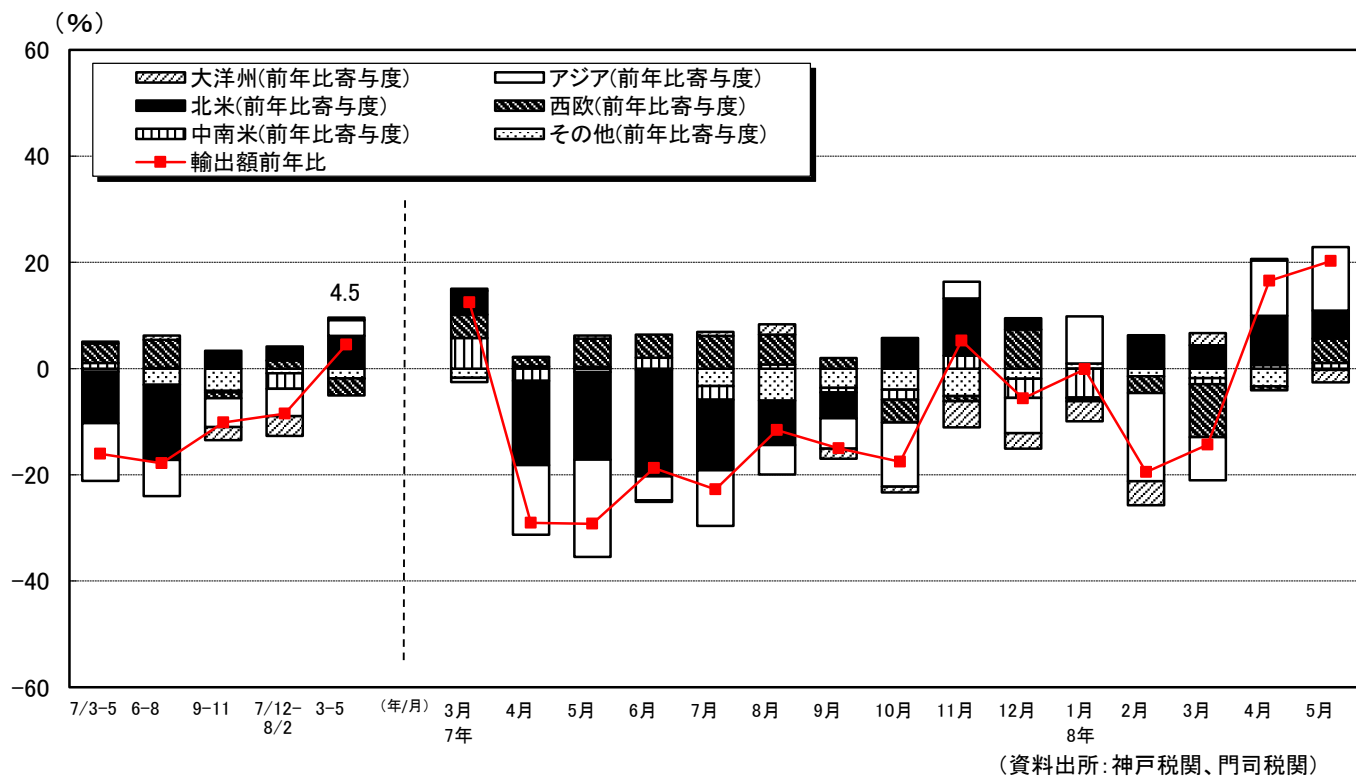
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸 出 前年を上回る

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

